

Action to Local

NARA MIE WAKAYAMA

in 三重テラス

参加無料

【紀伊半島 移住者トークセッション】

今、日本の地方で、新しいタイプの移住者が増えている。都会でキチンとキャリアを形成していたような人たちが、自ら選んで、地方へ移り住んでいる。世界的映画監督 河瀬直美監督をコーディネーターに迎え、紀伊半島（奈良・三重・和歌山）に移住し新たなスタイルを築いているお三方をゲストに、これからの移住を語っていただく。トークセッション後は3県の旬の食材を使った料理のふるまいと、フリートーク・交流会もあり。

奈良



青木 真兵 さん <研究者>

専門分野は古代地中海史で、神戸の大学で非常勤講師を務める。現在は兵庫県西宮市在住。2015年春、「拠点」を探していたところ、ひょんなことから東吉野村のシェアオフィス「オフィスキャンブ東吉野」を訪ね、村内の空き家を紹介してもらう。当初は週末移住を予定していたが、NPO団体に職を得て完全移住に向けて準備中。

三重



古守 庸一郎 さん

<大台町雇用・定住推進協議会統括マネージャー>
大阪で広告制作や事業戦略の仕事に携わっていた。教育環境を考え、地方に目を向けることに。昨年7月、大台町に移住。奥さんのマサコさん、小学校3年生の優奈さん、来年小学校に上がる悠真（ゆうま）ちゃんの四人暮らし。現在はこれまでに培ってきたスキルを活かして、雇用創造や移住促進に取り組む。

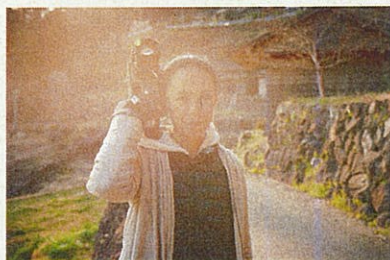
和歌山



千井 芳孝 さん

<大学演習林職員>
大阪府堺市出身。和歌山県が実施した「緑の雇用事業」に応募し、サラリーマンを辞めて2002年に古座川町へ移住。妻・美代さんとの新婚生活も同時にスタートさせた。移住当初は森林組合に勤務し、林業を学んだ後に転職して大学演習林職員となる。関西きっての清流、古座川沿いの定住促進住宅に暮らす。

コーディネーター 河瀬 直美 (映画監督)



生まれ育った奈良で映画を創り続ける。

1997年劇場映画デビュー作「萌の朱雀（もえのすざく）」で、カンヌ国際映画祭カメラドール（新人監督賞）を史上最年少受賞。2007年「殞の森（もがりのもり）」で、審査員特別大賞グランプリを受賞。2009年には、カンヌ国際映画祭に貢献した監督に贈られる「黄金の馬車賞」を受賞し、2013年には日本人監督として初めて審査員を務めた。2015年1月、フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」を叙勲。映画監督の他、CM演出、エッセイ執筆などジャンルにこだわらず表現活動の続け、「なら国際映画祭」ではエグゼクティブディレクターとして奔走中。最新劇場映画「あん」は大ヒットを記録中。

公式サイト www.kawasenaomi.com 公式ツイッターアカウント @KawaseNAOMI

2016 1/23 sat 17:00~19:00

【1部：トークセッション】 【2部：フリートーク・交流会】

※トークセッション後は3県の旬の食材を使った料理のふるまいがあります

【開催場所】 三重テラス

【所在地】 東京都中央区日本橋室町2-4-1 YUITO ANNEX 2階

【お申し込み方法】 氏名・ご住所・電話番号・参加人数を明記のうえ、下記アドレスまでお申し込みください。

紀伊半島移住プロモーション事業実行委員会事務局（奈良県移住・交流推進室）

Tel:0744-48-3016 mail:nanbu@office.pref.nara.lg.jp

